



いう、やや堅苦しいイメージでとらえられていたように感じます。しかし、本来学ぶこととは、学問だけではなく、仕事や趣味、人間関係など、暮らしの中から何らかのものを会得し、生きるよろこびを感じとっていくことではないでしょうか。

こうした観点から、学習教室や各種講座など社会教育だけの範囲にとどまらず、「さくらんぼ狩り」をはじめとする町のイベントや、祭り・伝統行事、スポーツ大会、交通安全運動等々、町民の皆さんが参加するすべての催事をも含め「生涯学習事業」とし、人と人とのふれあいを通して生きがいを実感できる機会を積極的に設けていきます。その意味で、本町の生涯学習は、すなわち「町づくり」の原動力になる、とも言えるでしょう。

今後は役場内に設置した「生涯学習推進本部」が、いきいきとした町づくりの窓口として幅広く機能し

ていくよう努めていきます。

さて、福島盆地に位置する伊達町の特長のひとつとして、四季折々に見事な景観を見せる美しい自然が挙げられます。ただ、人々がこの素晴らしい自然を満喫できる公園や施設が少なく、町民の皆さんからは、それらの建設を望む声が高まってきています。そこで、町が策定した第二次振興計画に基づいて、公園整備に本格的に着手し、緑あふれる町づくりを進めていきます。これにより、人々がふるさとの自然とふれあい、のびのびと憩い、そして明日への活力を育むことができる。そんなゆとりある環境の創造から「人にやさしい町づくり」を目指してゆきます。

当要覧では、そうした夢と希望に満ちた町づくりを通し、明るい未来に力強く前進する伊達町の姿を紹介しております。本町をご理解いただく一助になれば幸いです。